

野菜花き 5月下旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 5月19日、20日、21日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は生育初期であった。アブラムシ類の寄生がみられ、平年と比べ多かった（図1）。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は5段花房が着果中であつた。オンシツコナジラミの発生は、5月上旬から増加し、平年と比べやや多かった。病害の発生はみられなかった。



図1 トマトのアブラムシ類（小諸市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫期であつた。アザミウマ類の寄生株率は5月上旬よりも増加し、平年と比べ多かった。病害の発生はみられなかった。

中野市のほ場（露地栽培）は生育初期であつた。病害虫の発生はみられなかった。

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は着果期であつた。病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は結球始期であつた。チョウ目害虫の被害株が数株みられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は生育期（7～8葉期）であつた。病害虫の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は生育期（8葉期）であつた。チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は生育期（5葉期）であつた。アブラムシ類の寄生がわずかにみられ、チョウ目害虫の被害株も数株みられた。病害の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は生育期（7葉期）であつた。病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は出蕾始めであつた。コナガの寄生がわずかにみられ、その他のチョウ目害虫の被害がみられたが、平年並であつた。病害の発生はみられなかった。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は未定植であつた。

小諸市の巡回ほ場は結球期であつた。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

小海町の巡回ほ場は生育期（8～9葉期）であつた。病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は生育期（5～6葉期）であつた。病害虫の発生はみられなかった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は結球始期であつた。すそ枯病の発生がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は収穫中であつた。病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であつた。病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は結球期であつた。すそ枯病、斑点細菌病の発生がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫中であつた。ジュウシホシクビナガハムシの成虫の寄生が多かった（図2）。病害の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨除け栽培）は立茎中であつた。アザミウマ類の寄生がわずかにみられ、平年と比べ

やや早い発生であった。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫中であった。病虫害の発生はみられなかった。

9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は倒伏開始期であった。アザミウマ類の寄生がみられたが、寄生頭数は少なかった。病害の発生はみられなかった。

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は生育期であった。アブラムシ類の寄生がみられた。病害の発生はみられなかった。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、生育期（草丈 18 cm 程度）であった。病虫害の発生はみられなかった。



図2 アスパラガスのジュウシホシクビナガハムシ（小諸市）

【中南信】 巡回日 5月19日、20日、21日、22日、23日

1 トマト

南箕輪村及び松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。病虫害の発生はみられなかった。

伊那市及び安曇野市の巡回ほ場（露地栽培）は、それぞれ生育初期、定植直後であった。病虫害の発生はみられなかった。

2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。花及び葉にアザミウマ類（中発生）の寄生がみられた。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、着果中であった。花及び葉にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられたほか、葉にハダニ類（少発生）の寄生がみられた。

3 すいか

飯島町の巡回ほ場は、つる引き作業中（トンネル被覆）であった。病虫害の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場は、つる引き作業中（トンネル被覆）であった。葉にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられた（図3）。



図3 すいかのアブラムシ類（松本市）

4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場は、結球期であった。葉にアザミウマ類、コナガ及びウワバ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。

朝日村の巡回ほ場は、結球始期であった。葉にコナガ（少発生）の寄生がみられた。

茅野市の巡回ほ場は、生育初期であった。病虫害の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場は、生育期であった。葉にウワバ類（少発生）の寄生がみられたほか、チョウ目害虫による食害（少発生）もみられた。

6 はくさい

朝日村及び木祖村の巡回ほ場は、生育期であった。病虫害の発生はみられなかった。

7 レタス

塩尻市の巡回ほ場は、生育期であった。病虫害の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場は、生育期であった。前回に続き、外葉にすそ枯病（少発生）の発生がみられた。

8 セルリー

松本市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫期であった。病虫害の発生はみられなかった。

原村の巡回ほ場（露地栽培）は、生育期（トンネル被覆）であった。病虫害の発生はみられなかった。

9 アスパラガス

豊丘村（雨除け栽培）の巡回ほ場は、立茎中であつた。払落しによりアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。

飯島町（雨除け栽培）の巡回ほ場は、立茎開始期であつた。病害虫の発生はみられなかつた。

池田町（露地栽培）の巡回ほ場は、収穫中であつた。若茎にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。

10 たまねぎ

安曇野市の巡回ほ場は、本葉 8.0～9.0 葉であつた。葉に黒斑病及びべと病の発生がみられた（図4）。また、アザミウマ類及びネギハモグリバエ（いずれも少発生）の寄生がみられた。

11 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉 4.0 葉であつた。アザミウマ類及びネギハモグリバエ（いずれも少発生）の寄生がみられた。

山形村の巡回ほ場は、本葉 3.0 葉であつた。病害虫の発生はみられなかつた。

12 きく

富士見町の巡回ほ場は、生育期（草丈約 20cm）であつた。病害虫の発生はみられなかつた。



図4 タマネギべと病（安曇野市）